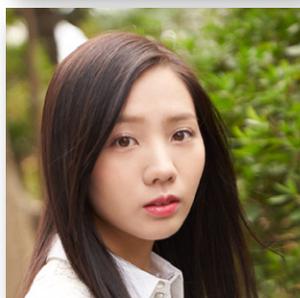


清水一輝 "一騎討ちProject" 舞台「吼える」

追加出演者情報解禁!! 能條愛未、崎本大海、田野優花に続き、
宮迫博之(雨上がり決死隊)、木村なつみ、新里哲太郎 出演決定!
東京CBGKシブゲキ!!と大阪ABCホールで5月上演!



"一騎討ちProject"
produce by
清水一輝

作・演出
えのもとぐりむ

東京公演
2019.5.1(水)～5.5(日)
CBGKシブゲキ!!

大阪公演
2019.5.10(金)～5.12(日)
朝日放送ABCホール

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜りまして、誠にありがとうございます。
この度、役者・モデルとして活動している清水一輝がプロデュースする"一騎討ちProject"の舞台公演「吼える」を2019年5月に東京CBGKシブゲキ!!と大阪ABCホールにて行うことが決定いたしました。作・演出家のえのもとぐりむの人気作品「クジラの歌」を改稿・改題しての上演となります。本公演ではストレートプレイ初挑戦の能條愛未をはじめ、TVや映画、音楽活動など多方面で活躍する崎本大海、ダンスや歌唱だけでなく演技力でも評価される田野優花など多彩な出演者に加え、昨年ぐりむの法則の「アイスベリーバグ」でも主演した、雨上がり決死隊の宮迫博之を迎える事が決定した。チケット一般販売は4月6日(土)10:00より販売開始。宮迫博之の出演決定で大阪公演も期待が高まる。本件につき是非ともお取り扱いをいただき、御媒体を通じて多くの皆さまへ告知いただけますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。 敬具

《報道関係お問い合わせ先》

担当:菅沼(スガヌマ)

Mobile:080-4141-5527 mail:taro@alave.co.jp

清水一輝 "一騎討ちProject"舞台「吼える」

<公演概要>

【東京公演】

2019年5月1日(水)～5月5日(日)
会場：CBGKシブゲキ!!

【大阪公演】

2019年5月10日(金)～5月12日(日)
会場：朝日放送 ABCホール

【公演日程】

東京公演

5月1日(水) 19時
5月2日(木) 19時
5月3日(金) 14時★/19時★
5月4日(土) 13時★/18時★
5月5日(日) 12時★/16時★

大阪公演

5月10日(金) 19時★
5月11日(土) 14時/19時30分★
5月12日(日) 12時/16時

★…宮迫博之出演回

【チケット情報】

取り扱い:チケットぴあ

●特典付きチケット先行(抽選)

受付期間:2019/3/23(土) 11:00～
2019/3/26(火) 23:59

※先行チケット購入者にはキャスト別非売品
プロマイドを会場にてお引き渡し致します。

●一般チケット発売日

4月6日(土)AM10:00

WEB: <http://w.pia.jp/t/Hoeru-stage/>

電話:0570-02-9999

【東京】Pコード:493-627

【大阪】Pコード:493-629

店頭:セブン-イレブン、チケットぴあ店舗販売

【チケット料金】

SS席(特典付) 8500円

S席6500円

A席5500円

(前売・当日共/全席指定/税込)

※SS席チケット購入者には非売品グッズを
会場にてお引き渡しいたします。

【出演者】

清水一輝 能條愛未
崎本大海 田野優花

松田大輔

楠ろあ 寒川綾奈
北出ゆい chelu 木村なつみ
新里哲太郎 堤裕樹 垣雅之

宮迫博之

ほか

<INTRODUCTION>

東京から沖縄に向かうフェリー<くじら>の客室フロアが舞台。激安運賃で三日間の船の旅というツアー企画に集った風変わりな客たち。フェリーは出発直前に、シージャックされる。シージャック犯達は乗客に銃を向け、呷く。
「いいか、お前は三日後に死んでもらう」
シージャック犯達の目的は何なのか。
その真相が明かされた時、乗客達の運命が揺れ動く。果たして、乗客達は沖縄まで無事に辿り着けるのか。
6年前に初演を上演したえのもとぐりむ代表作の一つ好評の声に応え、2016年、2018年に再演した「クジラの歌」2019年、台詞に修正を加え、改稿版「吼える」として生まれ変わる。

公式フェイスブックページ:[facebook.com/ikkiuchi.project](https://www.facebook.com/ikkiuchi.project)

お問い合わせメールアドレス:hoeru2019@gmail.com



<脚本・演出:えのもとぐりむ コメント>

6年前に書いた『クジラの歌』という作品のリバイバルになります。僕以外の演出で再演を何度かしており、演出としてこの作品と向き合うのが6年ぶりとなります。若い頃にしか書けない鋭さや、暑苦しい程のメッセージ性が原作にはあります。今の僕が残して削って新しく『吼える』とタイトルを改めて上演致します。清水一輝を中心に熱い想いを舞台上から届けます。お楽しみに



<瀬美役&企画制作:清水一輝 コメント>

約一年前のゴミノクワイに引き続き、三度目のプロデュース公演となります。僕は、ブレない本物の想いは必ず実現すると本気で思っています。しかし、僕の現状ではまだまだその言葉に説得力がなく悔しい思いをする日々です。このもどかしい想いを日々 試行錯誤を重ねて、なにをやるにも無名の僕には否定から入るこの世の中と闘いながら様々なカタチにして証明していく。これが、「一騎討ちProject」です。今回 演じる瀬美のように命削って届けたい想いが僕にも沢山あります。『吼える』は今の時代に生きる全ての人に訴えたい作品です。最高の座組の皆さんと精一杯、お届けします。

<真心役:能條愛未 コメント>

真心という役は自分史上最も大きな挑戦になると思っています。グループを卒業したばかりで、女優としてこれから頑張っていきたい中で、初のストレートプレイのお芝居でこの役を演じられる事は今後私の役者人生の糧となり肥やしになると確信しています。是非劇場にお越しください。

<鳴海役:崎本大海 コメント>

この『吼える』という作品は、人間の底力をとことん信じた作品だと感じました。プロデューサーの清水一輝に初めて会ったとき自分の全てを懸けて「死ぬ気で」この仕事に打ち込んでいるということを感じました。そんな彼と共に仕事を出来るということが、ぼくにあって財産になると直感しています。演劇はLIVEです。「死ぬ気で生きる」ことでしか伝えられないことを伝える場所です。ぜひ劇場に観に来てほしいと思っています。



<題字制作:書道家 万美 / Calligrapher MAMI プロフィール>

1990.6.6、山口県下関市出身。9歳で筆を持ち、高校時代より書家を志す。HIP HOPカルチャーのひとつ、グラフィティを書道と同じ視覚的言語芸術と捉えた“Calligraf2ity”を確立。個展やパフォーマンス、作品展示は日本をはじめ、アジア・ヨーロッパ・アメリカ・アフリカ・オーストラリア等でも Calligraf2ityを表現している。現在は東京・大阪・山口に拠点を置き、国内外を巡る。